

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(3)	運営推進会議に家族や利用者の参加が少ない	家族、利用者が参加しやすい運営推進会議を設定し、活発な協議を展開する	参加しやすい日程を調整し、全家族に通知する。また、参加できない場合も、あらかじめ、協議内容を事前に通知し、アンケート形式等で意見を伺う。さらに会議で協議された内容を全家族に報告する。	6ヶ月
2	(6)	ホームでの取り組みや課題について家族への説明不足がある	ホームの現状を家族が常に理解し賛同できる環境を作る	運営推進会議に多くの家族に参加していただき意見を伺うとともに、毎月のお便りや家族参加型の行事の際に、ホームの現状を報告する。また、満足度調査を実施し、ホームの取り組みに活かしたい。	6ヶ月
3	(13)	災害に対する取り組みを強化したい	いざという時に全職員が昼夜を問わず、安全に避難誘導できる心構えと技術を身につける	毎月自主的に避難誘導訓練を実施する。また、定期的に消防署から指導を受け、全職員が正しい知識と技術を身につけるようにする。	12ヶ月
4	(1)	地域密着型サービスの意義の認識が不足している	全職員が理念を共有し、実践につなげていく	新任職員の研修を充実させ、特に、地域密着型サービスの特性を理解できるようにする。また、ホームで大切にしていることを共通理解できるように、月に一回カンファレンスで、意見交換をする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。